

北穂通信 05.08.01 Vol.7

◎「ショートステイ」からのお知らせ

①7月11日(月)10:00~12:00 場所:ゆうあいセンター。

「高槻手をつなぐ親の会」と懇親会を実施致しました。

「親の会」からは水田会長他21名の方が出席されました。「北穂」からは、松原・山崎・〇〇(♀)・〇〇の4名の常勤スタッフが出席致しました。(北は別業務の為欠席)

内容としては、「北穂ショートステイ」の運営理念・スタッフ・ご利用状況等を「北穂」よりご説明した後に、「親の会」からのご質問にお返せ致しました。

②ご利用定員5名→7名へアップ!

「市・障害福祉課」への申請・承認も完了しました。一度にご宿泊できるゲスト人数を万一の緊急対応に備えて、5名から7名に増やしました。ゲストの皆様にご安心頂ける様、今後も努めて参ります。

◎「障害者自立支援法反対運動に参加して」・・・山崎

7月5日、6日の両日、東京での「障害者自立支援法反対運動」に参加してきました。炎天下の中、厚生労働省前より国会議事堂、衆参両議員会館前までシュプレヒコールと1万1千人の怒り、希望、不安のうねりと共に行動し届いたかに思われた訴えでしたが、空しくも13日に与党の賛成多数で可決されました。(運悪く運動当日は郵政民営化法案の衆院可決の日であり社会の目がそちらに向いているのは報道記事などから明らかでした。)あとに残るのは、さも何事も無かったかのような扱いへの怒り。虚無感です。他人事のようにすれ違う人々。うるさいと言わんばかりの人々。正に現状の障害者に対する社会を反映していると感じました。「社会参加」、「社会認知」などの言葉を障害者に対し当たり前で使われない社会を創るため、社会一人一人意識を持つにはどうすべきかを考えて取り組んで行きたいと思えます。

◎プールプログラムの意義

水泳は全身運動であり水中では無重力に近い状態で水平姿勢を保つ運動であることから、血行や代謝機能を促進します。「北穂」としては、プールプログラムの内容を高めていきたいと考え、昨今では本格的な水中ウォーキングを実施しております。背面歩き・もも上げ・腰のツイスト等を行うことで、普段使わない筋肉や・筋を動かし、ストレッチ効果が生まれます。現在、スタッフの〇〇・〇〇が水泳トレーニング講習を受け、徐々に拡大させて頂いております。また、体育館等を借りての、スポーツ・運動の企画も進めております。

発行元:自立センター北穂

住所 高槻市日吉台1-21-18 TEL 072-689-8600 FAX 072-689-8900